

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和元年11月5日

釧路市議会議長 松永 征明 様

会派名 日本共産党議員団

代表者名 村上 和繁



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	工藤 正志
出張先	東京都中央区
期間	令和元年10月27日 ~ 令和元年10月30日 (4日間)
用務	世界一丁寧でわかりやすい 議員向け財政研修
調査(研修)結果等の概要	別紙報告書参照
備考	

- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

〈報告書 別紙〉

「世界一丁寧でわかりやすい 議員向け財政研修」に参加して

日本共産党議員団 工藤 正志

令和元年10月28日から29日に東京都中央区で行われた、地方議員研究会主催の「世界一丁寧でわかりやすい議員向け財政研修」に参加しましたので、詳細を報告いたします。

第一日目（28日）の午前は、決算状況「歳入」の講義で、「税と地方交付税」「借金と補助金について」「臨時財政対策債とは」「良い借金・悪い借金」について学びました。

全国の自治体で発行している「財政状況」すなわち「決算カード」の読み方を身につけるだけで、その自治体の財政状況のほとんどがわかるものというもので、私は釧路市の平成29年度の決算カードをもとに、そこに書かれている歳入・歳出・各種財政指標等の状況の詳細について、ひとつひとつ教わりました。

また一般財源（地方税・地方交付税）と特定財源（国庫支出金・地方債）について、家計のお金を例に挙げながら、大変わかりやすく説明していただきました。

他には「臨時財政対策債」についても、わかりやすく説明していただきました。

この日の午後からは、決算状況「歳出」の講義でした。主に「目的別と性質別の違い」「歳出のうちの自治体のお金と、その他のお金」「繰出金と補助費等を見るポイント」「積立金と公債費について」などについて講義を受けました。

「決算カード」の目的別歳出については、教育のために使われたのか、福祉のために使われたのか、行政目的ごとに歳出を分類したものであり、性質的歳出は、人件費に使われたのか、建設費のために使われたのかなど、経費の経済的な性質ごとに歳出を分類したもので、自治体の財政状況を分析する上で不可欠なものとなっていることを教えていただきました。

釧路市から提出される会議案の中に、「総務費」「民生費」といった目的別歳出の詳しい単語の内容説明や、「積立金」「繰出金」といった性質別歳出の単語の内容説明も詳しくしていただきました。

第二日目（29日）の午前は、決算状況「財政収支」について、「自治体の黒字、赤字って何？」「実質収支と実質単年度収支の違い」「近年の自治体財政の赤字問題」「全国自治体は全て黒字、でも本当は半分以上が赤字のワケ」などについて学びました。

ここでも釧路市の「決算カード」を用いながら、歳入歳出差引（形式収支）、実質収支、単年度収支、実質単年度収支について、ひとつひとつ丁寧に教えていただきました。

実質収支黒字は、通常「決算剰余金」と呼ばれ、これ（純繰越金＝実質収支黒字）が出た場合、その処分は、2分の1以上を基金への積み立てか、地方債の繰上償還に充当しなければならないとなっており（地方財政法第7条）、これらの残額は、翌年度の歳入のうち「繰越金」として計上されることになることになっているとのお話しでした。

財政収支の分析では、新潟市・浜松市・阪南市・交野市の財政について、それぞれ分析を行いました

この日の午後のさいごは、決算状況「財政指標」の講義でした。主に「自分のまちの財政力を確認」「自分のまちは持続可能な状態か？」「健全化判断比率では、わからない自治体財政の本当のすがた」などについての講義を受けました。

この中で「釧路市の生活困窮者対策事業（中間的就労自立）」の紹介もあり、先生はぜひ全国の自治体の就労自立支援の参考にさせていただきたいと、釧路から参加している私のことも、受講されている参加者に紹介していただきました。

私は、このような議員向けの財政の研修の参加は2度目ですが、財政の分野は簡単に一度聞いたからといって覚えられものではないと考えておりました。

しかし森裕之先生の財政の講義は、「日本財政学会」の委員の中でも私よりわかりやすい先生はいないと自負されているように、先生の財政の講義が「日本で一番わかりやすい講義」であり、本当にわかりやすい財政の学習会であったと聞いて見て（パワーポイント）感じました。

特に1期目の議員においては、あまり馴染みのない言葉（地方税・地方交付税・国庫支出金・地方債など）や、どんなお金でどこから出てきているのかをきちんと理解した上で議会の本会議や委員会審査などで市職員と議論する中で、欠かすことの出来ない必要な知識だと思いますので、ぜひ1期目の議員の方々に聴いていただきたい講義だと思います。

先生は、「この2日間で財政部の職員と財政のディスカッションができるくらいのレベルにしていきます」と最初に言うておられましたが、本格的な財政分野の知識を得ることができた、わかりやすい講義であったと思っています。

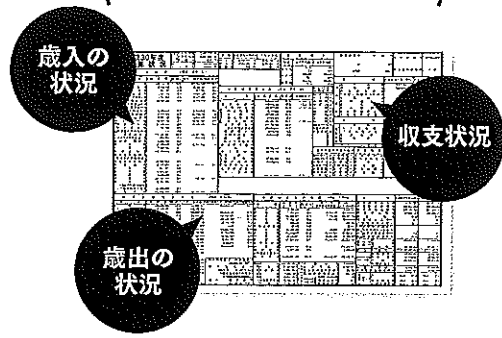
これ以上の知識は、自分で調べればわかるとのことでしたので、今後は自分で財政のことを調べながら学習し、議会の一般質問や委員会審査の中で生かしていきたいと思いました。本当によい研修に参加させていただいたと思っています。

以上

初当選から10年目までの議員向け

参加自治体それぞれの
決算カードを配布、解説

「決算カード」から読み取れる！ 世界一丁寧で、わかりやすい 議員向け財政研修



in 博多 10月7日(月) **in 東京** 10月28日(月)

10:00～12:30

決算状況 【歳入】

- ・税と地方交付税
- ・借金と補助金について
- ・臨時財政対策債とは
- ・良い借金、悪い借金

14:00～16:30

決算状況 【歳出】

- ・目的別と性質別の違い
- ・歳出のうちの自治体のお金とその他のお金
- ・繰出金と補助費等を見るポイント
- ・積立金と公債費について

in 博多 10月8日(火) **in 東京** 10月29日(火)

10:00～12:30

決算状況 【財政収支】

- ・自治体の黒字、赤字って何？
- ・実質収支と実質単年度収支の違い
- ・近年の自治体財政の赤字問題
- ・全国自治体は全て黒字。でも本当は半分以上が赤字のワケ

14:00～16:30

決算状況 【財政指標】

- ・自分のまちの財政力を確認
- ・自分のまちは持続可能な状態か？
- ・健全化判断比率ではわからない自治体財政の本当のすがた

講師紹介

もり ひろゆき
森 裕之

立命館大学政策科学部教授、
博士(政策科学)

略歴 1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授をへて、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

著書 共著 『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)
『検証・地域主権改革と地方財政』(自治体研究社、2010年)
『地域共創と政策科学』(晃洋書房、2011年)

論文・研究発表 『国土強靱化』の財政と地域政策(2013年) 社会資本の老朽化問題(2012年) 公共事業一括交付金(2012年)等

